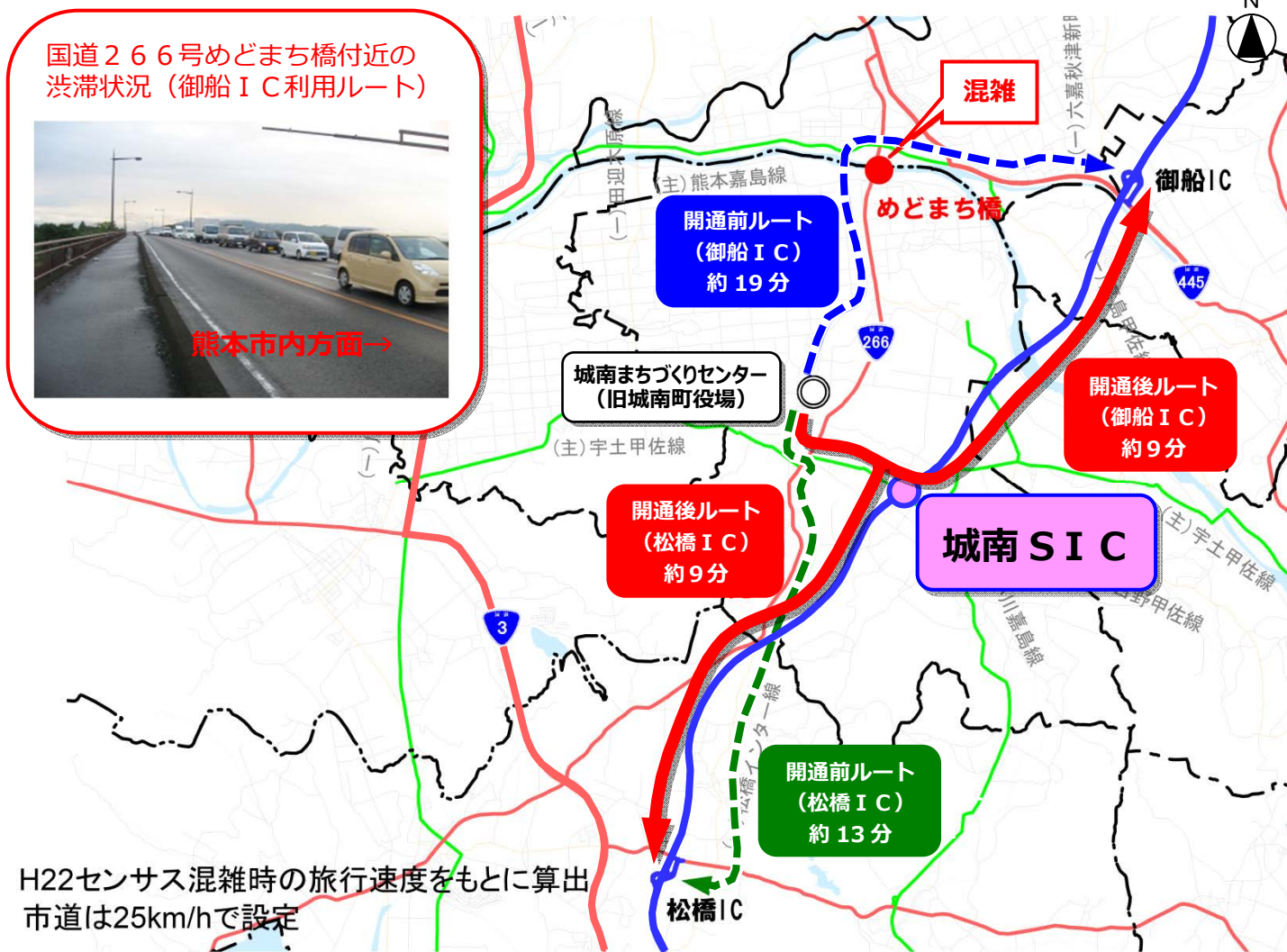


開通により期待される効果

【効果1】九州自動車道へのアクセス向上

- 城南 SIC の開通により、熊本市南部地域から九州自動車道までの新たなルートが形成され、所要時間が短縮されます。
- 特に熊本市南部地域から九州自動車道入り線（九州北部方面）を利用する場合は、国道 266 号の混雑区間を回避したルート選択が可能となります。

■城南まちづくりセンター（旧城南町役場）からのルート比較図



城南まちづくりセンター～御船 IC 間の所要時間



城南まちづくりセンター～松橋 IC 間の所要時間



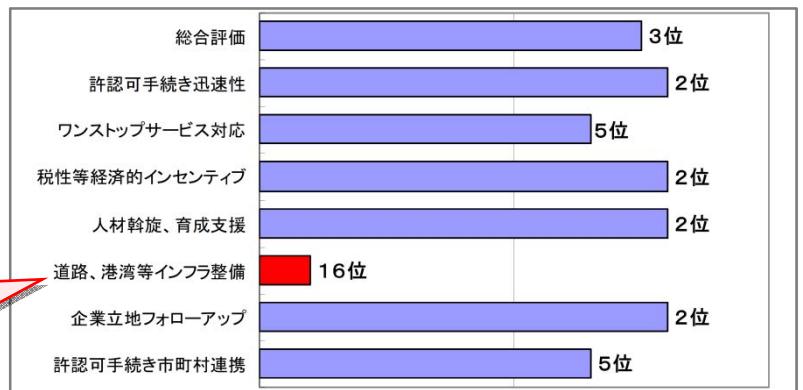
開通により期待される効果

【効果2】企業進出の促進および雇用拡大

- 企業立地支援への企業満足度調査において、熊本県はほぼ全ての項目で企業から高い評価を受けているものの、道路等のインフラ整備のみ満足度が低く、課題となっていました。
- 城南 SIC の開通により、周辺の工業団地等から九州自動車道までの所要時間が短縮され、物流の強化による企業進出の促進及び雇用拡大が期待されます。
- 特に城南工業団地については、城南 SIC の計画発表後に入居企業数が増加しており、開通後は更なる企業進出が期待されます。

■熊本県の企業立地満足度

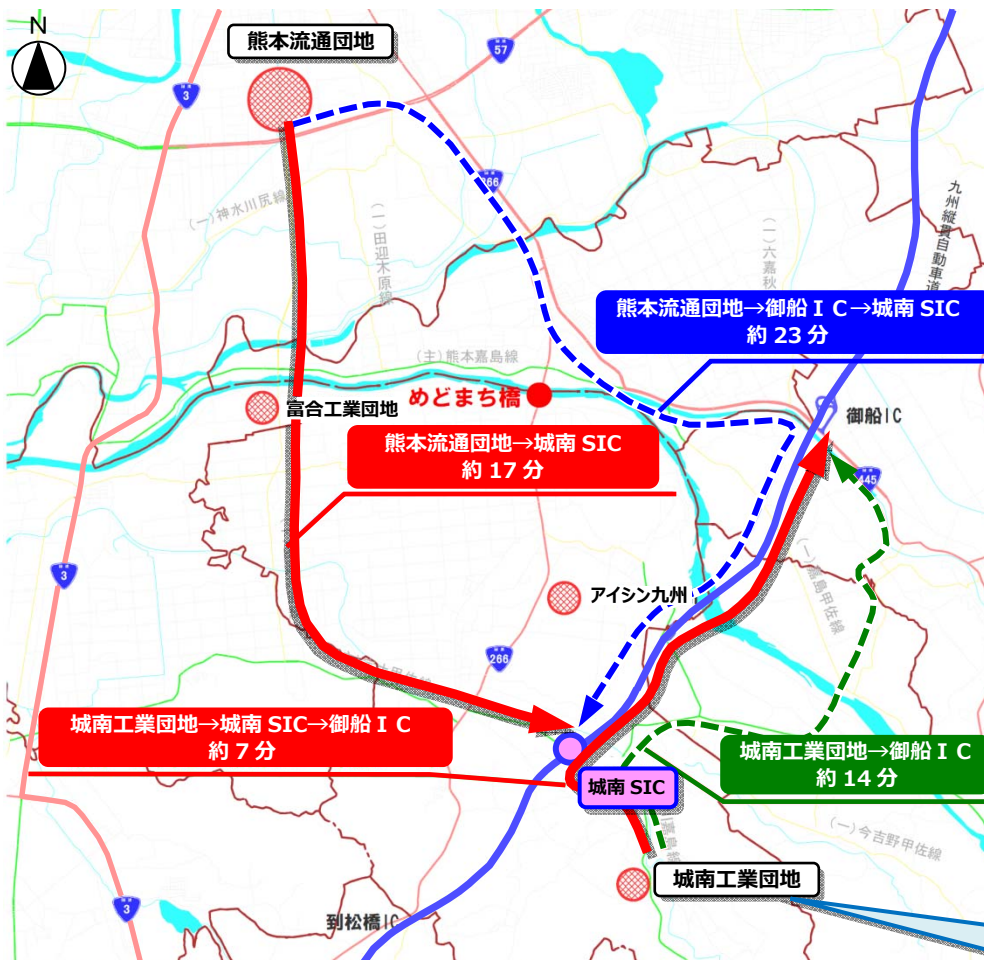
- ・調査名 : 都道府県の企業立地満足度調査
- ・調査主体 : 経済産業省
- ・調査期間 : 平成20年4月～5月
- ・回答数 : 全国の4,870事業所から回答
- ・調査概要 : 上記評価項目に対して満足度を5段階評価でアンケート



【課題】

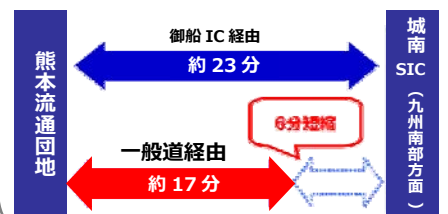
道路等のインフラ整備のみ満足度が低い

■工業団地等からのルート比較図



H22センサス混雑時の旅行速度をもとに算出
市道は25km/hで設定

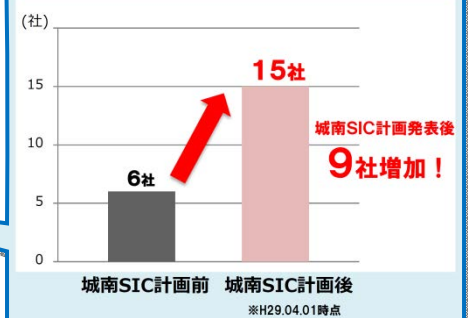
熊本流通団地～城南 SIC 間の所要時間



城南工業団地～御船 IC 間の所要時間



城南工業団地の入居企業数



開通により期待される効果

【効果 3】救命救急活動への支援

- 熊本県内の第三次救急医療は、熊本赤十字病院、国立病院機構医療センター、済生会熊本病院、熊本大学医学部附属病院の4箇所で担っています。
- 熊本市南部地域や宇城圏域※の最寄りの搬送先は、済生会熊本病院となりますが、受け入れ態勢に余裕がない場合などは、熊本赤十字病院を利用するケースもあります。
- 城南 SIC の開通により、熊本赤十字病院への搬送時間が短縮することで、救急医療活動支援の円滑化・迅速化を支援し、医療面における安心感の向上が期待されます。

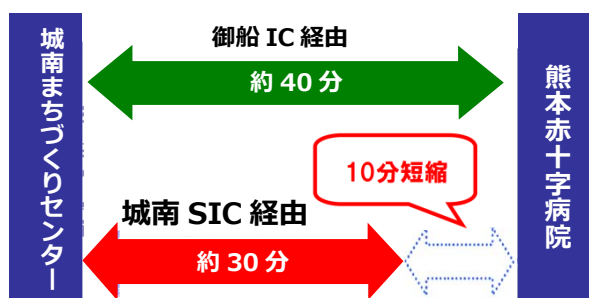
※宇土市・宇城市・美里町（第6次熊本県保険医療計画より）

■城南まちづくりセンター（旧城南町役場）からのルート比較図

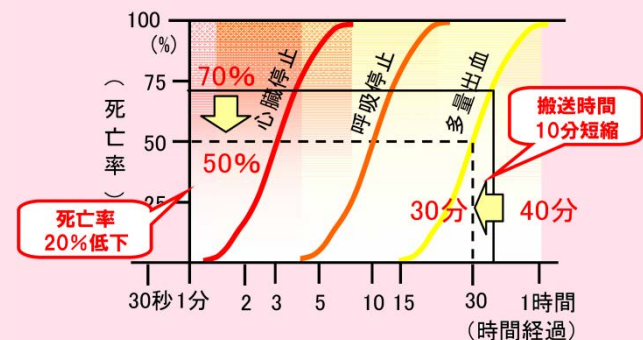
※九州自動車道を利用して搬送した場合



城南まちづくりセンター～熊本赤十字病院間の所要時間



死亡率（出血多量）が約 70%→約 50%に低下



※カーラーの救命曲線では、多量出血の場合、30分で死亡率50%、15分で0%とされている。
1分あたりの救命率向上を3%として算出